

取組概要「海結い BASE 構想」海の記憶を次世代へつなぐ現代の船団ネットワーク:片江漁港(島根県松江市)

概要

- 「片江船団」が築いた栄光と歴史の継承 大正から昭和初期にかけ、美保関町片江地区は「片江海洋漁業株式会社」を筆頭に、下関漁港を拠点として遠く東シナ海までその勢力を広げた「片江船団」の本拠地でした。良好な入り江と豊かな海洋資源に恵まれたこの港は、かつて日本の遠洋漁業を牽引した活気に溢れ、荒波を越え時代を覇したその歴史は、今も地域住民の揺るぎない誇りとなっています。
- 「海の記憶」を次世代へつなぐ再生への挑戦 時代の変遷とともに片江漁港の賑わいは薄れ、現在は深刻な高齢化と担い手不足に直面しています。このままでは、先人が築き上げた豊かな「海の記憶」や伝統文化が失われかねません。本事業はこの危機感を地域再生の原動力とし、歴史ある片江漁港を舞台にデジタル技術と地域資源を融合させた「現代の船団ネットワーク」を再構築することで、再び地域に活気と雇用を取り戻すことを目的としています。



海業の取組概要



- (1) 水産資源の高付加価値化・循環モデル実証(かたえ墨付けウニ)
- (2) 海洋教育プログラムの収益化実証(わかめの楽校)
- (3) 高齢者雇用と伝統食文化継承の実証(片江漁師飯・ばあちゃん食堂)
- (4) 漁港施設の多目的利用および安全共生実証(海の停留所・片江テラス・船小屋カフェ)
- (5) 広域展開型デジタルプラットフォームの有効性実証(海結い BASE)



効果

水産資源の循環モデル確立
交流人口の創出
漁業と観光の共生
広域展開の基盤構築

協力体制

片江海業推進協議会(片江漁業会、片江自治会、ほか)、株式会社 Sea-Noise、島根県、松江市

スケジュール

- ・令和8年5月 デジタルプラットフォーム「海結い BASE」ベータ版公開
- ・令和8年6月 波待ちカフェ(片江テラス)試行営業開始
- ・令和8年7月 ばあちゃん食堂プレオープン
- ・令和8年7月 「かたえ墨付けウニ」研究開始
- ・令和9年1月 海洋教育プログラム「わかめの楽校」親子体験受入れ開始
- ・令和9年4月 「地域の記憶アーカイブ」デジタル公開